

(1) 本事業の遂行に係る全般的な留意点について

- ・地域における独自の地域循環共生圏のビジョンを描きながら、本事業が地域循環共生圏の構築に資することを意識し、提案された補助事業の果たす役割に留意しながら取り組んでいただく必要がある。
- ・補助事業終了後、採算性や関係者との連携に留意しつつ、協議会等を効果的に活用し、地域の中で自立的に展開できる仕組みを構築いただくことが肝心である。
- ・補助事業の成果が、他地域での取り組みのモデルとなるよう、先進性に留意しながら検討いただくことを期待する。
- ・事業化に向けた具体的なロードマップについては、すべての事業において、地域の関係者と協議を行いながら明確にし、事業の具現化に向けた動きを促進していくことが求められる。

(2) 個別事業の評価について

①第1号事業

○高い評価を得た申請内容の例

- ・地域の課題を分析し、具現化に向けて段階を踏んだ提案内容となっている。
- ・計画事業における出口戦略が明確な提案となっている。
- ・周辺地域も視野に入れ、圏域としての地域循環共生圏の形成に結びつく提案となっている。
- ・金融や地域企業との連携等、計画事業が地域社会経済の中で自立可能なものとして提案されている。
- ・前年度事業を実施した者にあつては、指摘事項や課題、成果を十分に踏まえた提案となっている。

○低い評価となった申請内容の例

- ・一般的な調査にとどまっており、具体的な事業がイメージできない提案となっている。
- ・機器導入に係るF Sとなっており、地域における事業の位置づけや役割が明確な提案とはなっていない。
- ・計画事業における採算性の検討が十分に為される提案とはなっていない。
- ・入口となる地域課題の分析が不十分、或いは出口戦略が明確に示されていない提案となっている。

②第2号事業

○高い評価を得た申請内容の例

- ・地域資源の状況を十分に分析し、そのうえで求められる事業について明確に提案が為されている。
- ・活用する資源を明確に特定しながらも、多様なステークホルダーを巻き込み、地域全体として具現化に向けた動きが期待できる提案となっている。

- ・計画事業により解決される地域課題や出口戦略が明確な提案となっている。
- ・前年度事業を実施した者にとっては、指摘事項や課題、成果を十分に踏まえた提案となっている。

○低い評価となった申請内容の例

- ・地域資源・課題に係る現状分析が不十分で、出口戦略も明確ではない提案となっている。
- ・地域におけるこれまでの取り組みを活かし発展させる事業提案となっていない。
- ・活用する資源の領域が狭く、事業効果が域内の特定の地域や関係者に限定される提案となっている。
- ・設備導入のみを想定し、地域課題の解決に果たす事業の位置づけ等が明確とは言えない提案となっている。

③第3号事業

○高い評価を得た申請内容の例

- ・庁内の部署間連携及び地域内のステークホルダーとの連携を図った提案となっている。
- ・地域での合意形成に向けて多様な手段を用い、かつそれが高い効果を期待される提案となっている。
- ・前年度事業を実施した者にとっては、指摘事項や課題、成果を十分に踏まえた提案となっている。

○低い評価となった申請内容の例

- ・表面的な協議にとどまり、事業の具現化に向けた取組が十分に期待できない提案となっている。
- ・事業の概念が抽象的であり、地域で合意形成を図るべき具体的な事業内容がイメージできない提案となっている。
- ・既に地域で行われている活動を単になぞるだけの提案となっている。

以上